SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：株式会社　肥後銀行

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営陣は行員との対話会などを通じて会社のあるべき姿を直接説明し、共有している。 ・親会社である九州フィナンシャルグループで設定したパーパス・ビジョン・バリューに基づき、グループの存在意義について行内で共有するとともに、個人のパーパス（マイパーパス）の作成に向けた取組を進めている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に関する方針や規程、マニュアルが策定されている。 ・各部室店で法令遵守担当者を配置し、担当者を中心としてコンプライアンスに関する動画の視聴・確認テストを毎月全従業員実施している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為の禁止を含むマニュアルを整備し、明文化している。 ・毎月不正競争行為を禁止する内容も含んだ勉強会を実施し、公正な取引をしていくためのノウハウを行員に周知している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・専門部署（経営企画部サステナビリティ推進室）を立ち上げ、自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響（可能性）を把握・管理している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除について、規程・マニュアルを設けている。 ・コンプライアンス勉強会や通信講座にて知的財産保護のための行内教育を行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報に関する基本方針や規程・マニュアルを策定し、情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している。 ・個人情報保護に関する勉強会を行い行員への周知、意識醸成を行っている。 ・各部室店において定期的に個人情報が記載されたものを管理・点検を行っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・定期的なCS調査により、顧客の声を施策に反映させるなど双方向コミュニケーションを行っている。 ・親会社九州フィナンシャルグループにて、ステークホルダーに対してIRを定期的に開催している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・SDGsコンサルティングを通じて、お客様の事業を理解し対話を行い、環境や社会に配慮した取り組みを支援している。 ・親会社九州フィナンシャルグループで、サプライヤーの皆様への期待事項として調達ガイドラインを制定し、サプライヤーの皆様と協働した人権・環境等ESGに関する取り組みを行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・熊本地震後BCPを改定しており、毎年火災訓練、地震訓練を実施している。 ・移動店舗車を2台所有しており、災害発生時も事業継続ができるよう体制を整えている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・独自の教育プログラムに基づき、次世代の経営層の指導・育成に取り組んでいる。 ・事業承継に関する資格取得を推奨している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・フェアトレードチョコレートの斡旋を行っている。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定めており、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生教育の実施や定期健康診断による健康管理など安全衛生に関する規程を就業規則にて策定している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員（正行員・スタッフなど）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・「男性育休100％宣言」への賛同、早期退行の推進、有給取得推進などのワークライフバランスのとれる環境を整えている（2019年プラチナくるみん取得済み）。 ・イクボス・よかボス宣言をしており、HPにて公表している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得による報奨金制度により授業員のモチベーションアップにつなげている。 ・年次別研修やそれぞれの役割や役職に応じた研修など時期に応じた教育体制を整えている。 ・多様化・高度化するお客様や地域のニーズ・課題に対し、的確な価値提供による解決支援を実現するため、専門スキルを備えた人材を育成するため「専門スキル認定制度」を設置している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人ホワイト500に6年連続で認定されている。 ・日常的な健康管理・増進に役立つ「健康増進アプリ」を導入や睡眠改善に役立つ動画セミナーを従業員へ案内している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性役職者や女性管理職の比率、外国人・障がい者雇用率に関する社内KPIを設定し、ダイバーシティ推進を行っている。 ・従業員が障がい者に対する理解を深めるため、動画研修を実施し各所属にて意見交換を行う場を設けている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・時差出勤・テレワークの導入に加え、Web会議など新しい働き方に対する体制を整えている。 ・テレワーク利用時の実施手続き方法を見直し、より利用しやすい制度へ改定している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DX推進を専門とする部署として経営企画部内に「デジタル戦略室」を設置しており、DX計画に基づき行内のDX推進及びデジタルテクノロジーを活用したお客様の利便性向上・業務の効率化を推進している。 ・RPAを活用した、業務の効率化を行っている。 ・行内向け「生成AIチャットボット」の運用を開始しており、行内における各種規定や事務取扱要領の検索、内容の確認を可能としている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・2022年に認定を受けており、「働きやすさ」と「働きがい」を感じ、多様性のある組織づくりに取り組んでいる。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：株式会社　肥後銀行

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物等を適切な管理・処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎年エネルギー使用量を算出・公表しており、太陽光発電装置やLED照明の設置、電力プランの見直し、公用車にはEVなどのエコカーを採用している。 ・室内温度を夏28℃、冬20℃とし、空調温度管理を徹底することでエネルギー使用量削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎年温室効果ガスの排出量を算出、公表しCO2排出抑制に取り組んでいる。 ・WEB口座推進、ペーパレス化推進、適切な空調管理等によりCO2排出量削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・グリーン購入宣言を行い、環境に配慮した物品の購入を実施している。 ・植樹や野焼きボランティアで生物多様性保全に取り組んでいる。 ・SDGs私募債の受託などで金融の面からも海洋汚染の防止削減に取り組んでいる。 ・親会社である九州フィナンシャルグループで生物多様性保全方針を制定している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・手続きのIT化により帳票の電子化などでのペーパーレスに取り組んでいる。 ・家庭で不要となった衣服、余っている食品を回収して市民の皆様に配布するプロジェクトを行っている。 ・家庭で使用済の天ぷら油を従業員、お客様から回収するスポットを設けており、回収後は環境負荷の少ないバイオディーゼル燃料「ReESEL」に再生する事業に賛同している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・植樹、田植えボランティアにより水源涵養に取り組んでおり、年間の地下水涵養量は100万㎥を超え当行役職員が年間で使用する量以上を涵養しており、ウォーターポジティブを実現している。 ・本店ビルではトイレで使用する水の約6割を雨水で賄うなど節水を心掛けている。 ・県内11か所に非常用の井戸を設置している。 ・新店舗の駐車場に浸透性アスファルトを採用している。 ・緑の流域治水プロジェクトにて「雨庭」を設置することで雨水を地面に浸透させ、地下水涵養に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・グリーン購入宣言を行い、環境に配慮した物品の購入を実施している。 ・親会社である九州フィナンシャルグループではグリーン購入規程を設定し、環境に配慮した製品の購入を徹底している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・新たにアプリを開発し、アプリを通して賞味期限が迫るなどしたまだ十分に利用可能な商品情報を提供し、割安に購入していただく仕組みを構築、実証実験を開始している。 ・家庭にある期近な食料品を回収し、必要とされる方へ配布するプロジェクトを実施している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・本店ビルに窒素化合物の吸収能力の高いオオイタビノックスを植栽、また練兵の庭を設置するなど緑化へ取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光発電装置やLED照明の設置、電力プランの見直しを行っている。 ・当行の100%出資子会社として再生可能エネルギー事業を営む株式会社KSエナジーを設立した。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・当行が植樹・管理を行っている「阿蘇大観（たいかん）の森」にて毎年、植樹ボランティアを実施している。 ・「阿蘇大観の森」の間伐材を使用した店舗を新設している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・当行が植樹・管理を行っている「阿蘇大観（たいかん）の森」にて植樹のほか、下草刈りなどの森林整備活動にも取り組んでいる。 ・地下水保全活動へ地元企業からも参加いただいており、活動の輪を広げている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・配布していたビニール袋を廃止、紙袋へ切り替えプラスチックの使用削減に取り組んでいる。 ・グリーン購入宣言を行い、環境に配慮した物品の購入を実施している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・公用車には、EV車などのエコカーを採用している。 ・パークアンドライド社会実験の実施について行内発信を行い、公共交通機関を利用していただけるように周知した。 ・民間事業者と連携し、店舗敷地内にシェアサイクル駐輪ポートを設置、アプリとの連携を行い自転車の利用を促し、環境負荷を減らす取組を行っている。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2030年までにScope1，2においてカーボンニュートラルを達成することを宣言しており、ロードマップに基づき計画的な削減に取り組んでいる。 ・2023年度では、2019年度比13.3%のCO2を削減した。 ・空調温度管理、ペーパレス化の継続、WEB口座の推進、車両の電動化を推進しており、全行をあげCO2削減に取り組んでいる。 ・CO2排出量算定システムを開発し、地域・お客様の脱炭素化を推進している。 【予定】新店舗でZEBの認証取得予定。（2025年2月開設予定）							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：株式会社　肥後銀行

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・新商品・サービス導入マニュアルを策定し、リスク管理・対策を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・店舗入口スロープや多目的トイレの設置など、バリアフリーにも配慮した店づくりを実施している。 ・2019年度以降、熊本県視覚障がい者福祉協会へ点字カレンダーを贈呈している。 ・ATM、窓口機能を搭載した移動店舗車を導入しており、店舗の少ない地域や各種イベント会場などさまざまな場所での金融サービスを提供している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・お取引先企業へ「熊本物産商談会」の機会を提供している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・新築店舗には、当行の所有する「阿蘇大観の森」の間伐材を使用している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・環境、社会へポジティブなインパクトを与える事業（取組）を支援する融資制度などのサステナブルファイナンスを提供している。 ・コンサルティングを通して企業が直面する社会課題の解決支援を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・農林水産業への経営支援の推進、市場動向、業界構造等の調査、財務等の調査、事業拡大に対するコンサルティング提案を専門に行う組織を設置している。 ・地域自治体、大学等と連携して南阿蘇村の草原環境維持、「くまもとあか牛」の生産の支援に取り組んでいる。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域行事（お祭り、ボランティア等）への参加だけでなく、植樹・田植え・稲刈りなどの地下水保全活動を毎年実施している。 ・熊本地震後の復興に向け、文化財の復旧、復興に役立てるための寄付を行っている。 ・文化活動の継承のため、熊本万作萬斎の会、熊本県立劇場コンサート等への協賛を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・営業店ごとに、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・九州内の地方銀行と「災害時相互支援に関する協定」を締結している。 ・毎年、火災訓練・地震訓練を実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・県内11か所に防災用井戸を設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsに関する講演活動や、自治体と連携した普及啓発業務に取り組んでいる。 ・新入行員に向けた研修やSDGsに関するチラシ作成などを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生、大学生を毎年インターンシップとして受け入れている。 ・中学校、高校、大学への出前授業を行っている。 ・大学への出前事業や、小学生に対してのお金の教室を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・Uターンなど、地元の学生を積極的に採用している。 ・専門人材の採用枠を設け、デジタルなどの専門人材の流出防止を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・事業承継やM&A、経営改善支援などの事業者の課題に対して様々な角度で支援を行っている。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。